

# 神戸市感染症発生動向調査週報

平成28年2月10日 作成 神戸市感染症情報センター

報告定点数 48 ケ所

第5週 2016年 2月 1日 ～ 2016年 2月 7日

インフルエンザ 設置定点数 48 ケ所

疾病名称	東灘	灘	中央	兵庫	北	長田	須磨	垂水	西	計	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	～14歳	～19歳	～29歳	～39歳	～49歳	～59歳	～69歳	～79歳	80歳～
インフルエンザ	139	89	121	51	228	78	144	223	338	1,411	4	12	38	48	71	102	128	83	132	89	98	246	53	46	90	88	47	21	11	4

報告定点数 31 ケ所

小児科 設置定点数 31 ケ所

疾病名称	東灘	灘	中央	兵庫	北	長田	須磨	垂水	西	計	～6ヶ月	～12ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	～14歳	～19歳	20歳～
RSウイルス感染症	3				1			5	1	10	6	1	2	1										
咽頭結膜熱	2					1		4	2	9			1		3	2	3							
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	7	9	8		1	1	5	9	28	68			2	2	7	4	12	7	6	7	5	11	1	4
感染性胃腸炎	16	5	4	7	31	12	36	60	17	188	3	8	20	16	17	32	13	5	9	8	8	19	9	21
水痘	1				2		1	1	2	7				1	1			1	1	1		2		
手足口病								1		1			1											
伝染性紅斑	1	4			8	2		2	3	20				1		4	2	4		2	4	3		
突発性発疹	2		2			1		2	1	8		3	4	1										
百日咳																								
ヘルパンギーナ								1		1						1								
流行性耳下腺炎	1				3		3	3	3	13					2	4	2	1	1	1		2		

インフルエンザの定点あたり患者数は29.40人となり、警戒レベル(同30人以上)に近づいています。警戒レベルとは本格的な流行を示す指標で、過去の動向をみると警戒レベルを超えた週又はその次の週にピークを示すことが多いです。全ての区で患者が増加し学校や幼稚園でも連日学級閉鎖が報告されています。国立感染症研究所によるとこれまでに検出したウイルスは2009年に新型インフルエンザとして流行したH1N1型が全体の半数を占めて最も多く、次いでB型が3割、A香港型が2割となっています。手洗い・うがい、マスク着用、室内の十分な湿度保持(50～60%)など感染予防に努めましょう。

報告定点数 10 ケ所

眼科 設置定点数 10 ケ所

疾病名称	東灘	灘	中央	兵庫	北	長田	須磨	垂水	西	計	～6ヶ月	～12ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	～14歳	～19歳	～29歳	～39歳	～49歳	～59歳	～69歳	70歳～
急性出血性結膜炎																													
流行性角結膜炎	2				1	2				5				1										2		2			

(定点機関から報告されたその他の感染症情報)

東灘区○マイコプラズマ感染症1例:10代男(6101)  
灘 区○マイコプラズマ感染症1例:0～4歳男(6202)  
中央区○アデノウイルス感染症1例:0～4歳男(6301)  
中央区○マイコプラズマ感染症1例:0～4歳男(6301)  
北 区○アデノウイルス感染症3例:0～4歳男女、5～9歳女(6505)  
垂水区○病原性大腸菌感染症4例:性別・年齢不詳(6804)  
垂水区○細菌性腸炎(カンピロバクター)4例:年齢不詳(6804)  
西 区○病原性大腸菌とカンピロバクターの混合感染1例:10代女(6901)  
西 区○マイコプラズマ感染症2例:5～9歳女、40代女(6902)

【結核に関する情報】 今週の結核届出患者数は10人(うち潜在性結核感染症2人)です。

【市内の感染症の状況】

インフルエンザの定点あたり患者数は29.40人で注意報レベルを超え警戒レベルに近づいています。(先週は18.27人)

【感染症発生動向調査事業実施要綱】

<http://www.city.kobe.lg.jp/life/health/infection/trend/img/youkou110729.pdf>

※病原体サーベイランスとは、流行する感染症の病原体を詳しく調べて、その特徴や流行状況を監視するシステムです。解析結果は、「神戸市環境保健研究所における病原体分離・検出状況」をご覧ください。

【お知らせ】 バックナンバーは神戸市のホームページからご覧いただけます。

[神戸市 発生動向](#) [検索](#)

または、神戸市ホームページ上段のバナーを以下のとおりたどってください。

(トップページ > くらし・手続き > 健康・医療 > 感染症・予防接種 > 感染症発生動向)

# 神戸市感染症発生動向調査週報

神戸市感染症情報センター 2016年2月10日 作成

## 全数把握対象感染症発生状況 (四類感染症 レジオネラ症)

性別	年齢	発病年月日	初診年月日	診断年月日	病型	診断方法（検査法）	症状	推定感染原因	備考
男	60代	2016年2月8日	2016年2月8日	2016年2月9日	肺炎型	尿中の病原体抗原の検出（IC法）	発熱、下痢 肺炎	不明	

## 全数把握対象感染症発生状況 (五類感染症 急性脳炎)

性別	年齢	発病年月日	初診年月日	診断年月日	病型	診断方法（検査法）	症状	推定感染原因	備考
女	0-4歳	2016年2月1日	2016年2月1日	2016年2月1日	/	臨床診断 病原体不明	発熱、痙攣 意識障害	不明	病原体不明
男	5-9歳	2016年2月6日	2016年2月6日	2016年2月7日	/	臨床診断 病原体の検出	発熱 意識障害	飛沫感染	インフルエンザA型

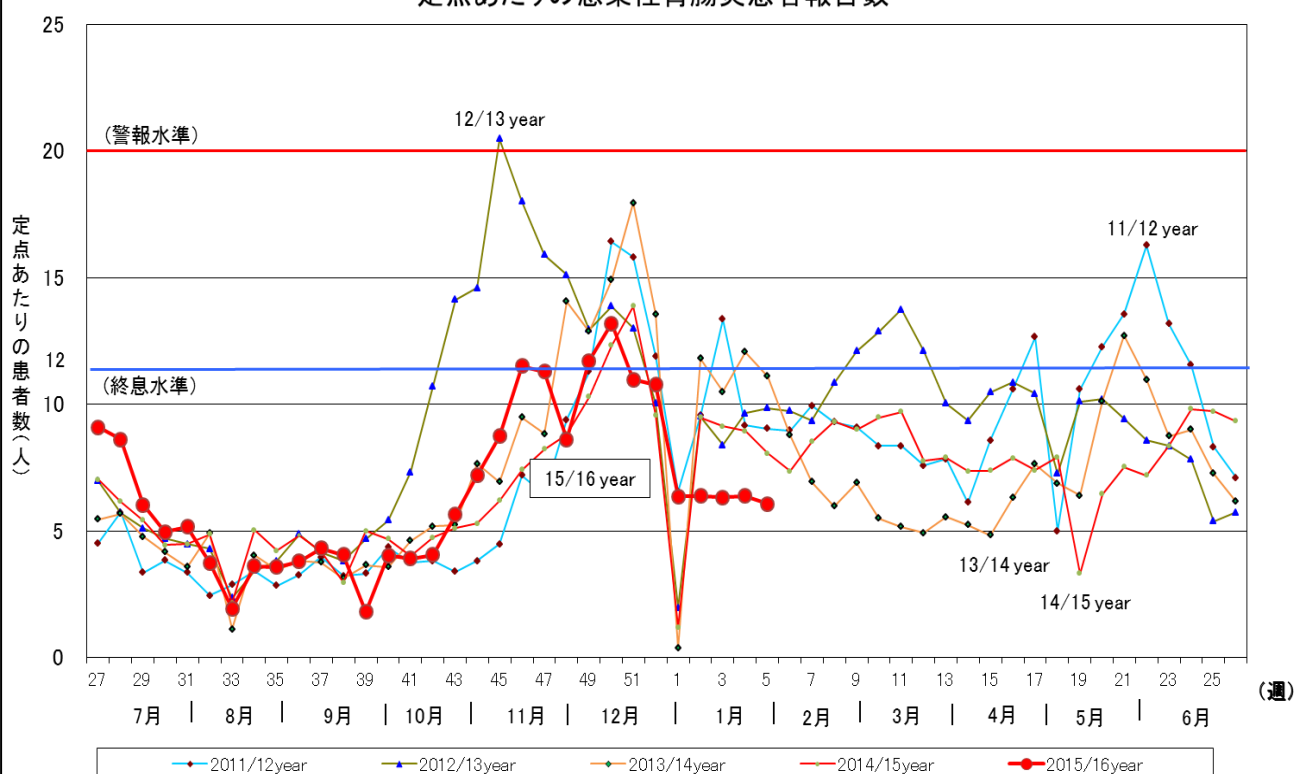
## 全数把握対象感染症発生状況 (五類感染症 劇症型溶血性レンサ球菌感染症)

性別	年齢	発病年月日	初診年月日	診断年月日	病型	診断方法（検査法）	症状	推定感染原因	備考
男	40代	2016年2月4日	2016年2月4日	2016年2月5日	A群	血液・胸水・喀痰からの培養法	ショック、肝不全、 腎不全、急性呼吸窮迫症候群等	飛沫感染	

## 神戸市環境保健研究所における病原体分離・検出状況

病原体	検体	区	状況
A型インフルエンザウイルス (A/H1pdm09)	鼻腔拭い液	東灘	4歳11ヶ月女児(1/19採取、39.0℃、インフルエンザ、ワクチン未接種)
	鼻腔拭い液	東灘	5歳2ヶ月女児(1/19採取、38.0℃、インフルエンザ、ワクチン接種済み)
	鼻腔拭い液	垂水	8歳女児(1/21採取、発熱あり、インフルエンザ、ワクチン接種済み)
	鼻腔拭い液	東灘	12歳男児(1/22採取、38.0℃、インフルエンザ、ワクチン接種済み)
	鼻腔拭い液	東灘	11ヶ月女児(1/26採取、39.5℃、インフルエンザ、ワクチン未接種)
	鼻腔拭い液	東灘	1歳7ヶ月男児(1/27採取、39.1℃、インフルエンザ、ワクチン未接種)
A型インフルエンザウイルス (A/H3、香港型)	鼻腔拭い液	須磨	40歳女性(1/26採取、38℃、インフルンザ、ワクチン接種済み)

# 定点あたりの感染性胃腸炎患者報告数



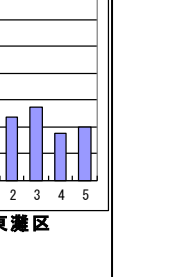
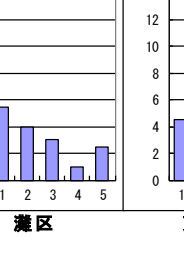
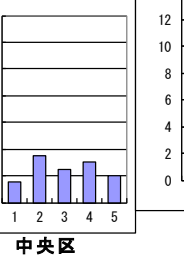
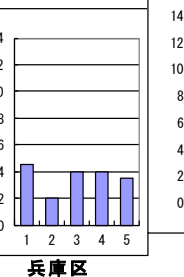
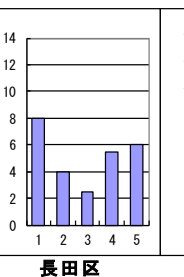
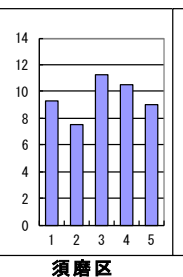
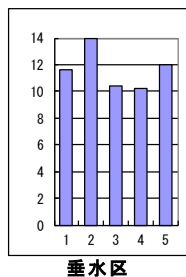
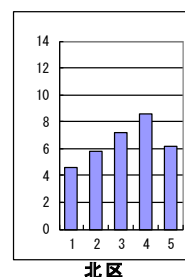
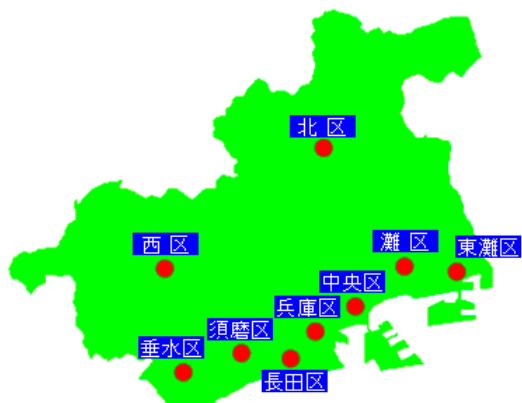
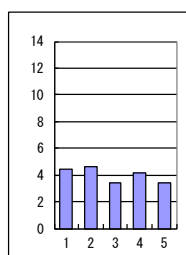
## 疾病別・地区別・定点あたり患者数マップ

第 1 週 平成28年1月4日

～

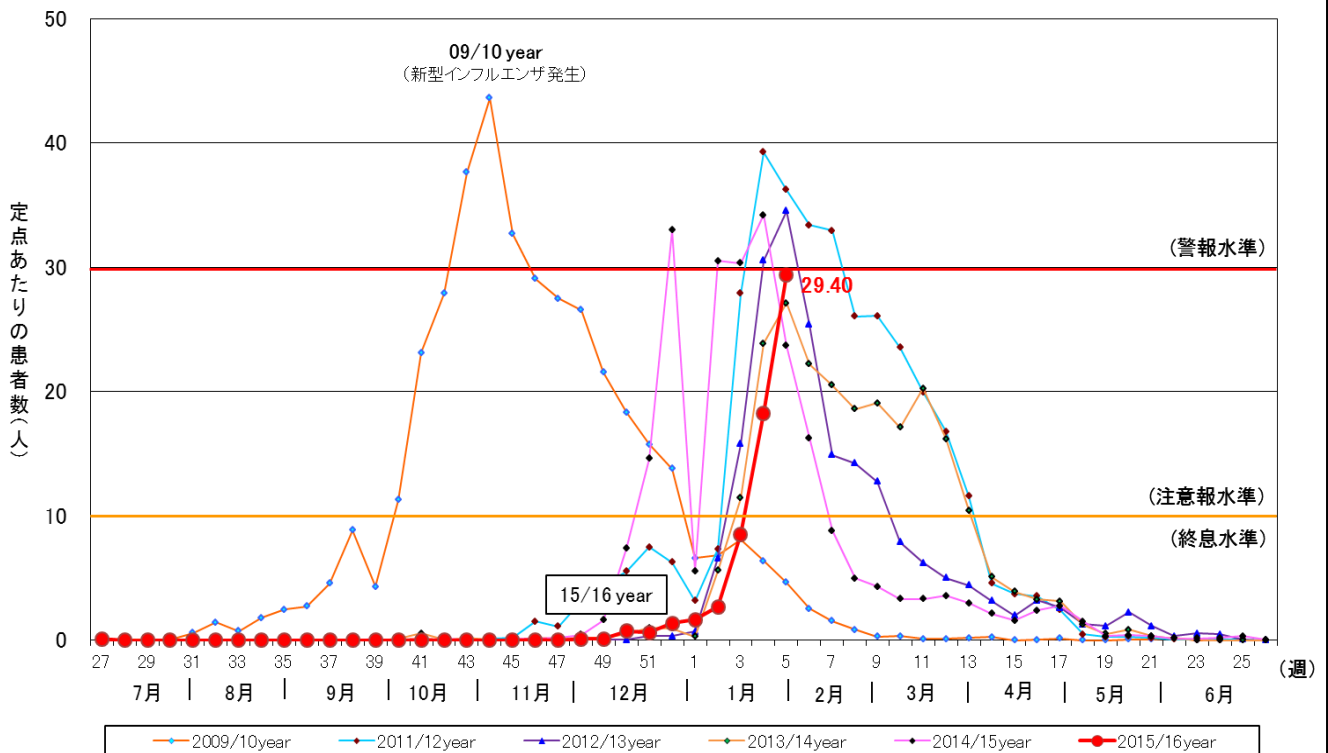
第 5 週 平成28年2月7日

### 感染性胃腸炎



※ このマップは、各区の定点報告医療機関の報告数を平均しグラフ化したものです。ただし、区により報告医療機関数は異なるので区内の継続的な傾向を把握することはできますが、区間の違いを正確に把握できるものではありません。

# 定点あたりのインフルエンザ患者報告数



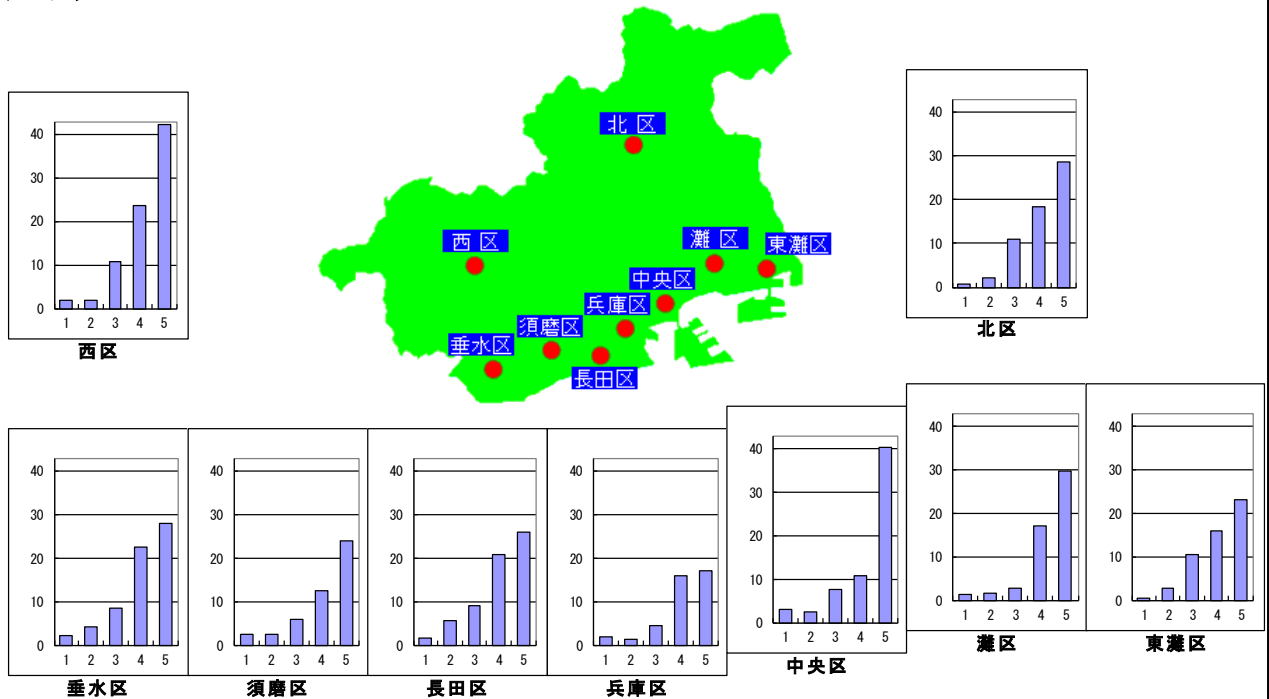
## 疾病別・地区別・定点あたり患者数マップ

第 1 週 平成28年1月4日

～

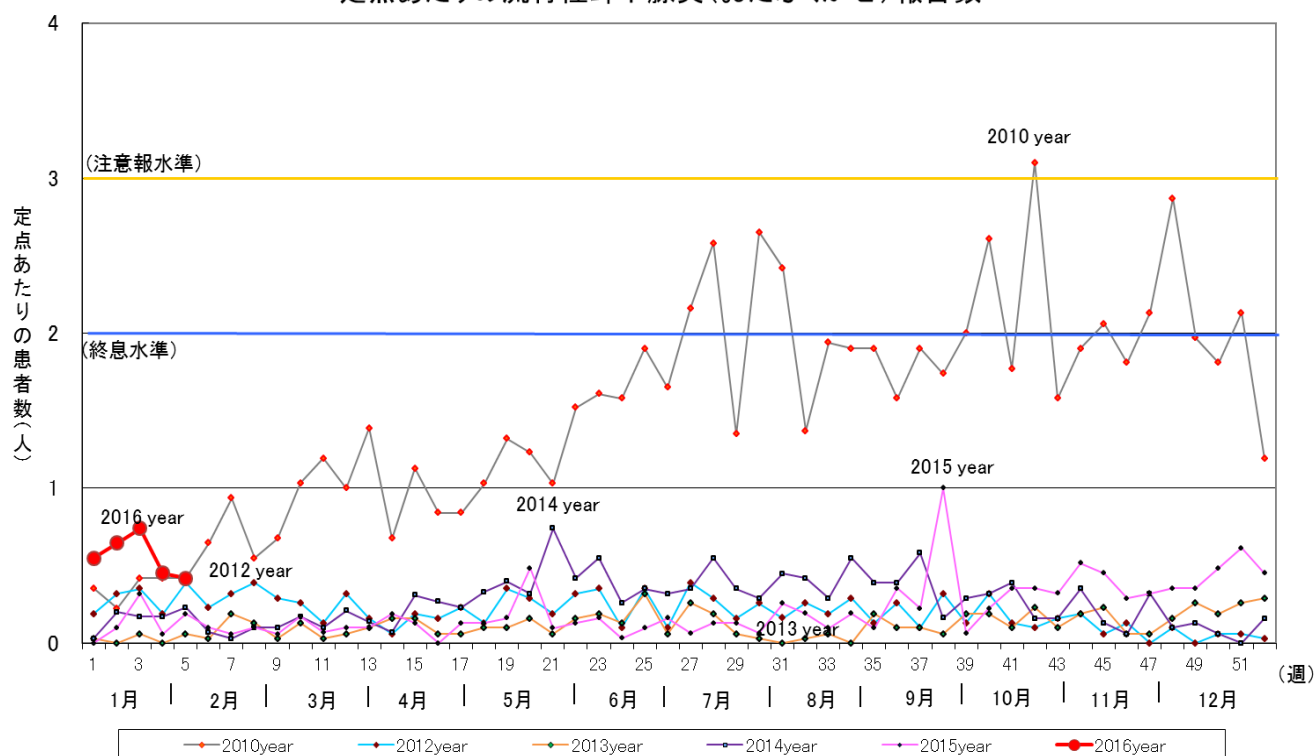
第 5 週 平成28年2月7日

### インフルエンザ



※ このマップは、各区の定点報告医療機関の報告数を平均しグラフ化したものです。ただし、区により報告医療機関数は異なるので区内の継続的な傾向を把握することはできますが、区間の違いを正確に把握できるものではありません。

定点あたりの流行性耳下腺炎（おたふくかぜ）報告数



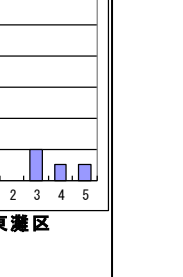
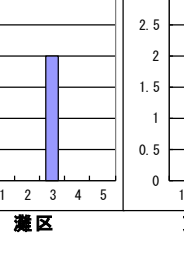
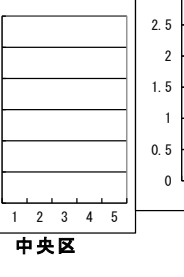
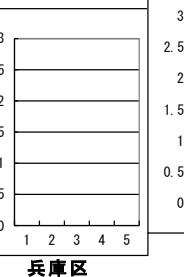
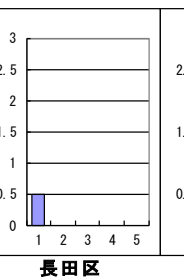
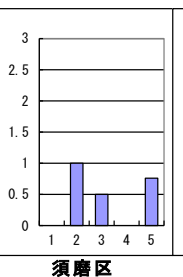
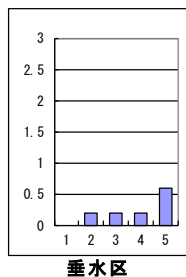
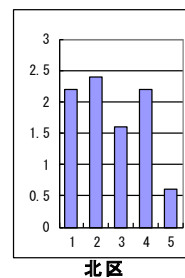
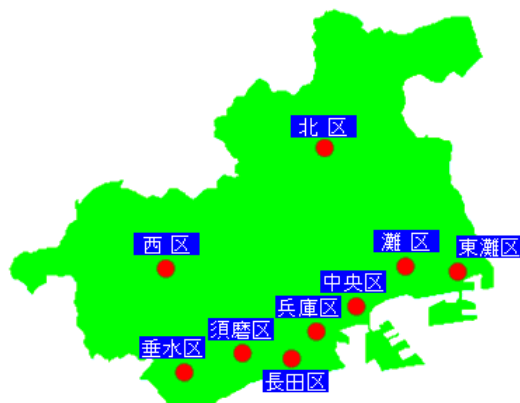
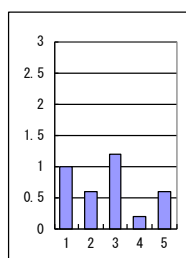
疾病別・地区別・定点あたり患者数マップ

第 1 週 平成28年1月4日

～

第 5 週 平成28年2月7日

流行性耳下腺炎



※ このマップは、各区の定点報告医療機関の報告数を平均しグラフ化したものです。ただし、区により報告医療機関数は異なるので区内の継続的な傾向を把握することはできますが、区間の違いを正確に把握できるものではありません。